

## 人気者になる方法

僕は乃木坂46や欅坂46が好きなのですが、  
仕事柄、なぜ彼女たちはあれほどの人気者になったのか？  
というのを考えることがあります。

タイトルにもすごくキャッチーな「人気者になる方法」  
なんて書きましたが、この「人気者」という言葉を聞いたとき、  
あなたはどんなイメージを持ちましたか？

学校のクラスの中で、いつも周りに人が集まっているような、  
そんなイメージでしょうか？

たしかにそういう側面もあるとは思いますが、僕はこの「人気者」  
という言葉をもっとシンプルに定義しています。

「なんかこの人、他とは違う」

そんなオーラ、雰囲気のある人のことを人気者だと考えています。  
つまり、気（意識）を引く人のこと。それが人気者。

人気者という言葉をもっとそう定義したうえで、  
乃木坂46や欅坂46は何故あれほどの人気なのか？

1つの意見として「とにかく可愛いから」という意見もあるでしょうし、それは間違いないでしょう。生田絵梨花さんの写真集買いました。（さりげない告白）

ですが、可愛いのは多くの人認めるとして、  
可愛いだけであれほど飛び抜けた人気になるのでしょうか？

僕はそんなにアイドルに詳しくありませんが、  
きっと「可愛い」だけで言えば他のアイドルも負けていないはず。

では、なにが他のアイドルと決定的に違うのか？

つい最近、Reborn という講座で榎坂46『二人セゾン』の歌詞を解説するセミナーを配信したんですが、その歌詞を僕なりの言葉でまとめているときに、「ああ、そういうことか」と腑に落ちたのです。

歌詞の最後の方に「思い出はカレンダー」というフレーズがあります。

ここの解釈はいろいろあると思いますが、僕はこう解釈しました。

“カレンダーは、1日1日がパズルのピースのようになっている、それが組み合わさって時間の流れを表しているもの。そして、思い出というのは「あの日、こんなことあったな」「この日はあの人と遊んで楽しかったな」というように、カレンダーを構成しているパズルのピースに書き込んでいくようなもの。それがカレンダーの空白を埋めていって、思い出を辿っていけば時間の流れを感じることができる。それは私のストーリー。だから、思い出にはカレンダーのような役割があるんだ。”

これは言い換えれば、  
思い出を「カレンダー」と定義した、とも言えます。

きっとこの歌詞を書いた秋元康さんの脳内辞書では、「思い出：過去の記憶」だけではなく「カレンダー」とも書いてあるのだと思います。

もしもこのフレーズが「思い出は美しい」だったら、  
変ではないと思いますが深みがなくなるように僕は感じます。  
「おお」と思わせるようなインパクトがない。

つまり、気が引かれないのです。

なんだか、ここに人気者のヒントがありそうですね。

## アイドルとは何か？

もし僕がアイドルなら、まずこの問いに向き合います。

アイドルってどんな存在だろう？  
アイドルって何を与える存在だろう？  
アイドルに求められるものは何だろう？  
アイドルが世の中に提供するものは何だろう？

「えー、疲れそう」と思うかもしれませんが、  
僕はすごく大切な作業だと考えています。

何故なら、ここに向き合っていないとユニークさが出ないから。

ユニークということは、他とは違うということ。  
それはイコール、人の気を引くことにも繋がります。  
つまり、人気者。

そして、「アイドル」と呼ばれる人達はたくさんいますよね。  
僕らが知っているよりも遥かにたくさんのアイドルがいるはず。

そんな中で、「アイドルとは何か？」に向き合っていなければ、  
他のアイドルの中に埋もれてしまい「その他大勢」になってしまう。

「このアイドルは他のアイドルとは違う」  
というオーラを出すためには、「アイドル」という  
一般的な共通の言葉への定義が、他とは違う必要があるのです。

僕は、乃木坂46や欅坂46が群を抜いて人気になっているのは、  
ただルックスが良いからだとは思いません。

それも理由の1つかもしれませんが、本質ではないと思います。

## 「アイドル」という言葉を、新しく再定義した。

これが、多くの人の気を引いている本質なのです。

秋元さんは一般的な意味だけではなく、  
「思い出」のことを「カレンダー」と新しく再定義したように、  
アイドルとは何か？に向き合い、再定義したのです。

表面だけ見れば他のアイドルと同じようなことをしていても、  
その内側にある意味が、他のアイドルとは違うのです。

だからこそ、気を引かれる。

ここまでの話を踏まえて結論を出すと、  
「なんかこの人、他とは違う」  
というオーラを放つために欠かせないことは、

## 言葉を自分なりに再定義する

僕のところに届くメッセージで、  
たまにこういったメッセージが届きます。

「魅力的な人になるにはどうしたらいいですか？」  
「イイ男（イイ女）になるにはどうしたらいいですか？」  
「モテるにはどうしたらいいですか？」  
「幸せになるにはどうしたらいいですか？」

こういったメッセージをいただいたときに、  
僕はいつも「答えられないな」と思うんですね。

もちろん、あらゆる勉強をしてきたので、  
それっぽいことを言おうと思えば言えるのですが、  
丁寧に答えようと思ったら答えられないのです。

なぜか？

相手が思い描いている「魅力的な人」や「イイ男（イイ女）」が、どんな人なのかが分からないからです。

「モテる」や「幸せな人生」が、どんな状態を表しているのかが分からないからです。

こういうのって、多くの人が目指しているところだと思います。

どうせなら魅力的な人でいたいし、イイ男（イイ女）でいたいし、モテないよりはモテたいし、幸せでいたいですよね？

ですが、だからこそ非常にふわっとした曖昧な言葉なのです。

こういった質問を送る人は、決まって「何をしたらいいのかが分からない」と言います。

ですが、これは正しくありません。

「何をしたらいいのかが分からない」の奥にある本当の課題は、「どこを目指しているのかが分かっていない」ことなのです。

旅行の目的地が決まっていなかったら、Google マップでルート検索しようがないですよね。

それと同じ状態になっているのです。

まずやるべきは、目的地を決めること。

目的地が決まるからこそ、そこに辿り着くためのルート検索ができて、どの道から行けばいいのかが見えてくるのです。

さっきのアイドルの話で言えば、  
ただ自分のことを「アイドルでいたい」と思っているだけでは、  
何を意識して、何をやればいいのか曖昧になります。

そうすると、「他の人がやっているから」という理由で、  
いろんなことを始めたりするのです。

ですが、それでは軸がないので深みもユニークさも出ないのです。

目的地（目指す姿）がぼやけていると、  
その人の言葉や行動もぼやっとなります。

そして、ぼやけているから人の気を引かないのです。

では、あなたの存在感を濃くハッキリと、  
まばゆいくらい輝かせるために必要なものは何か？

目的地（理想の姿）がハッキリしていること。

“あなたにとって”・・・

魅力的な人とは、どんな人か？  
イイ男（イイ女）とは、どんな人か？  
モテるとは、どんな状態か？  
幸せな人生とは、どんな状態か？

この問いに向き合って自分なりの言葉で再定義していくことで、  
目的地がハッキリして、そこに行くための道が見えてくるのです。

日々、どんなことを意識して生活すればいいのか分かるので、  
強固な軸のある生き方になり、自信溢れて、人の気を引くのです。

# あなたは誰ですか？ どのような人ですか？

この質問に、あなたはどうか答えますか？

名前を答えたり、職業や肩書を答えたり、人間関係で答えたり、仕事の業務内容を答えたり、いろいろ答え方はあると思います。

ですが、それって本当に「あなた」を表していますか？

あなたの顔や身体を指しているわけではなくて、  
本当に「あなた」を表している答えですか？

僕が提供しているワークに「ネーミングストーリー」  
というワークがあります。

最近スタートした新企画の Reborn メンバーには音声配って  
やってもらっていて、簡単に言うと自分の名前の一文字一文字に  
向き合って意味を込めていき、最後に「自分のストーリー」として  
まとめていく、ということをするワークです。

このワークを体験した人からは僕自身も含めて例外なく、  
「これから大切にしていきたい自分の生き方が見えた！」  
「今まで自分がやってきたことが繋がって、自信が出てきた！」  
「25年間嫌いだった自分の名前が大好きになれた！」  
という感想をいただいているワークです。

なぜネーミングストーリーは人生を変えるほどの衝撃があるのか？

それは、ネーミングストーリーが  
自分自身を再定義していくワークだからです。

「あなたは誰ですか？」という質問に、  
「僕は小野田聖士です。そして、小野田聖士とは〇〇〇な人間です。」

と、ネーミングストーリーを通して自分の名前と向き合う（再定義する）ことで、自分なりの言葉で自分のことを話せるようになるからです。

目的地（理想の姿）がハッキリすることで、何をすればいいのかが見えるし、堂々として自信を持てるようになるのです。

（「小野田聖士」という言葉を再定義した）

そして、そうやって自分なりの目指す理想の姿があって、  
「その理想の姿に近付くための行動を選んでいるんだ」  
という感覚で生きていれば、たとえ誰かに嫌われたとしても、  
まったく動じないのです。

そういう人はユニークなので人の気を引くし、  
特にテクニックなんて使わなくても話が面白くなります。

そして、自信溢れるスーパーサイヤ人みたいな状態になるので、  
その輝きに周りの人が感化されて影響されて、周りの人を元気にしたり  
温かい気持ちにしたり、やる気にさせたりします。周りの人まで  
光り輝かせていくのです。

そして、その光は水の波紋が広がるように世界中に広がります。

そんなことを願いながら講座や動画を作っています。

僕一人で世界を変えることはできませんが、  
光が水の波紋のように広がるみたいに、良い影響を連鎖させて  
世界に影響を与えることはできます。そんな思いでいます。

今、力を入れて運営している「Reborn」は、  
「ノートを通じて自分という人間の再定義をしていく講座」でもあります。

僕は Reborn という講座をそう定義していて、  
そのための話をしています。

「バレットジャーナル」という自己整理ノート術のノウハウを  
ベースにしていますが、具体的なノートの書き方は40分くらいの  
セミナーに凝縮して一気に話しているのです。

じゃあ他に何を話しているのか？と言うと、分かりやすく言えば、  
このレポートでお伝えしてきた「人気者になる方法」なのです。

あなた自身のこと、あなたが使っている言葉に向き合ってもらい、  
そしてそのためのキッカケを提供しつつ、再定義してもらおう。

大切にしたい考え、大切にしたい意識、大切にしたい人。  
これらを洗練していき、目指していく姿・生き方を明確にしていく。

それにより、人生に心の穏やかさと自信と充実感をもたらし、  
光り輝き、周りの人も光り輝かせていくような存在感に磨いていく。

僕は、Reborn をただのノート術講座ではなく、  
今お伝えしたような定義で捉えています。

毎日生まれ変わるような・・・まさに **Reborn**。

一緒に世界変えていきませんか？

興味があるなら、ぜひご参加お待ちしております。

[→Reborn の募集ページはこちら](#)